



2014.9.14 敬老会

愛と愛でつなげよう世界と平和

助任司祭 マーティン神父

日本は隣の国とつながっていない島国ですし、日本人が世界の人々と違いがあると言っても、日本と世界の関係の中で、戦争や飢餓などのために困窮し苦しみの中にいる全世界の国々のすべての人の安心と平和のために、JATCAという日本のグループの派遣と活動によって、日本人の愛が伝えられていると思います。違いがあっても、互いに平和のために働く必要があるし、日々の生活の中で出会う人々に関しても、助け合うことは当然だと思います。

今月行われるバザーの「愛と愛でつなげよう世界と平和」というテーマに関して、日本にある南山教会に属している私たちは、どのような毎日出会う人々とともに愛と愛でつながら、世界との平和を実現する事ができるでしょうか。私は、使徒パウロが書かれた一コリント教会への手紙「12・12・14、27・31」「体は一つでも・・・」の例え話の中に、色々なすべき教えがあると思います。信徒として毎日や毎週日曜日ミサで出会う世界の国々の人との関係に対しても、聖書の教えに従っても世界をつなげる愛には色々答えがあると思います。個人的な関係と共同体における愛、福音で示された愛を示す必要があります。

(3ページに続く)

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

南山句会

平成二十六年九月十日



大いなる沈黙を観て秋の風

美智子

風の盆哀しき音色一人旅

眞喜子

満月や樹影ざわめく八事山

紀子

空襲の思ひ出話す友逝きて

とく子

ノアの舟待つここちして秋出水

義子

蟬時雨平和の祈り朝の彌撒

聖子

平凡な日々のある日に万珠沙華

豊子

聖書読む机上に楚々と秋千草

せつ子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

トマス・アクイナス ^{きむら ひろまさ} 木村 博政 (北広島教会)
 小さきテレジア ^{きむら} 木村 みき (北広島教会)



転入

ようこそ

ステファノ ^{しみず あつし} 清水 厚 (守山教会)
 マリア・インマクラータ ^{とだ ゆうこ} 戸田 祐子 (伊勢教会)

教会維持費

9月は984.080円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

2014年10月・11月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月 19(日) 世界宣教の日	19(日) 教会美化・BBQ 26(日) バザー・日英合同ミサ	3(金) マリア会例会(懇談会) 5(日) 11:00 運営委員会 12(日) 典礼委員会 12(日) ヨセフ会班長会 18(土) 10:30 子ども部屋 25(土) 要約筆記付きミサ	16(木) 司祭協議会 19(日) 世界宣教の日(献金)
11月	死者の月 1(土) 諸聖人の祭日、ミサは、7:00のみ 2(日) 死者の日 9(日) ラテラン教会の献堂 23(日) 王であるキリスト 30(日) 待降節第一主日(B年)	1(土) 行事予定及び予算審議開始 2(日) 14:00追悼ミサ(大聖堂) 9(日) 子どものミサ(七五三) 11(火) マーティン師霊名の祝日 23(日) 9:30天使ミサ・入門式・日英合同ミサ	2(日) 11:00 運営委員会 9(日) 教会学校七五三 9(日) 典礼委員会 9(日) ヨセフ会班長会 14(金) マリア会遠足 15(土) 10:30子ども部屋 22(土) 要約筆記付きミサ	

(1ページからの続き)

2014年9月21日に発行されたカトリック新聞で教皇フランシスコにより、「見返り求めない愛を、福音とは慈しみ憐れみを示す事」と言われていることを私たちは日々の生活の中で示す必要があると思います。

もし毎日出会う人が自分の国の人であっても、他の国の人であっても、尊敬せず、差別や批判などばかりすると、交わりと平和という希望が実現されません。人間と人間の間には色々な賜物がありますが、旅するキリストの体になった共同体の皆さんが一つになることが務めます。愛と愛によって世界が平和になるために、すべての人の愛と平和を育む姿勢が必要です。

私たち一人一人に一つの体である教会共同体を守るべき福音をあかしするために、それぞれ役割があります。その一つ一つは異なっても、どれもすべてが必要で大切で、どれが一番えらいかを判断する必要はありません。むしろそれぞれのあかしによって、かしらである神の偉大な業、不思議な業を認め、ほめたたえる必要があると思います。それを実現するために、一人一人の権利、尊敬、敬う姿勢を表す必要があります。

教会学校キャンプ

西村自然農園にて

キャンプファイヤー

五年 鈴木 紗奈

二日目の夜にキャンプファイヤーと花火をしました。女子は、もうじゅうがりをしました。残ったら、バツゲームで、フナッシーのものまねか、しりもじをしました。男子は、ボーリングができませんでした。なにもしませんでした。次に伊藤リーダーのぼんおどりをおどりました。

最後に、花火をしました。花火は、たのしかったです。キャンプファイヤーの火でやると、あついで、人から火をもらってやりました。せんこは、かぜでとばされていっしゅんでおわりました。



敬老会
2014年9月14日



2・ゆるしの秘跡（続き）

ゆるしの秘跡は、和解の秘跡
だけではなく、回心の秘跡、悔
い改めの秘跡、告解の秘跡とも
呼ばれています。このような秘
跡の名称は、ゆるしの秘跡の構
成を表しています。それは、悔
い改め、罪の告白、赦免、償い
です。

ゆるしの秘跡は、より大きな
実をもたらし、罪をゆるして
いただき、神との交わりの中に
再び受け入れられた人のより大
きな成長につながるために、十
分な準備が必要です。この準備
とは、前回のゆるしの秘跡以来
のキリスト者としての自分の生
き方、特に神との関係、隣人と
の関係、さらに自分との関係を
イエス・キリストの生き方を基
準にして振り返りながら、足り
ないところ、また、問題になっ
ているところを探すことなので
す。おそらく、自分の生き方を
正直に見つめることができるキ
リスト者なら誰でも、聖パウロ
のように、次のように言えるの
ではないかと思えます。つま
り、「わたしは肉の人であり、



罪に売り渡されています。わた
しは、自分のしていることが分
かりません。自分が望むことは
実行せず、かえって憎んでいる
ことをするからです。・・・善
をなそうという意志はあります
が、それを実行できないからで
す。わたしは自分の望む善は行
わず、望まない悪を行ってい
る。」（ロマ7・14-25）もし、
自分の生き方を見つめても、聖
パウロが自分の生き方において
見出したような問題を全然見出
せないならば、この人には、キ
リストのように生きたいという
望みがありません。または、そ
のような望みがあっても、非常
に薄いものです。それとも、キ
リストの無条件の愛を十分に信
頼することなく、自分の生き方
を正直に見つめることができな
くて、フアリザイ派の人々と同
じように自分のことを知らない
ということではないかと思いま
す。いずれにしても、自分の
罪を見出せないというような状
態は、罪を犯すこと自体よりも
危険なものなのです。なぜな
ら、自分の病気を意識していな
い人は、それを治療することが
できないまま、病状が悪化して

いくように、自分の罪を見出せ
ない人は、痛悔して、悔い改め
ることも、神と和解することも
できないために、キリスト者と
して、また、人間として成長す
る代わりに、無意識のうちに、
段々と、愛と命の源である神か
ら遠ざかっていくからです。
キリスト者は、自分の罪、つ
まりキリストの愛に対する自分
の不誠実によつて、どれほどキ
リストを悲しませたか、さらに
どれほど大きな危険性を招いた
かということをはつきりと意識
すれば、ゆるしの秘跡が成立す
るために必要な悔い改め、つま
り犯した罪を悲しみ、忌みきら
い、二度としないという決心を
自然にできるのです。このよう
な決心を守るために、つまり、
イエスの愛により忠実に生き、
イエスとの交わりを深めるため
には、どのような罪を、何回犯
したというところに留まるので
はなく、罪を犯した原因を見つ
けて、それをなくす必要があり
ます。なぜなら、いろいろな執
着や悪い癖、または、間違った
価値観、神や他人に対する非現
实的な期待、過去に負わされた
心の傷などのような原因が存在

している限り、二度と罪を犯さ
ないことを心から決心をして、
それをしばらくの間守ることが
できたとしても、必ずこの罪に
戻ることになるからです。実
は、自分のことを知るようにな
るために、ゆるしの秘跡を受け
る前の準備は、十分ではないで
す。必要なのは、自分の生き方
を毎日振り返ることなのです。
このような準備の終わりに、
ゆるしの秘跡を受けるときに告
白する罪を決める必要がありま
す。必ず告白しなければならな
いのは、大罪とも言われる大き
な罪です。例えば、他人の生
命、体、名誉を著しく傷つけた
こと、神を冒瀆したこと、信仰
を捨てたことや自分の責任で教
会の掟を守らなかったこと、ま
たは姦通、姦淫、人工避妊や妊
娠中絶などです。その他の罪に
ついては、すべてを網羅する必
要はありませんが、自分の霊的
な状態をより正しく把握するた
めに告白した方がよいでしょ
う。

他の秘跡と同じように、ゆる
しの秘跡は、儀式化されていま
す。その次第は、次の通りで

1. あいさつ

司祭「父と子と聖霊のみ名によって、アーメン。」

• 信者もそれに合わせて、十字を切ります。

祭司「神のいつくしみに信頼して、あなたの罪を告白してください。」

2. 罪の告白 (信者)

• 司祭の理解を助けるために必要ならば、自分の身分や、この前の告白などを告げます。

• 告白をします。

• 告白の終わりに次のように言う。「今日までのおもな罪を告白しました。ゆるしをお願います。」

3. 勧めの言葉 (司祭)

4. 償いの指定 (司祭)

5. 悔い改めの祈り (信者)

例えば、「神よ、いつくしみ深くわたしをかえりみ、豊かな憐みによってわたしのとがをゆるしてください。悪に染まったわたしを洗い、罪深いわたしを清めてください。」

6. 罪のゆるし

司祭「全能の神、あわれみ深い父は御子キリストの死と復活

によって世をご自分に立ち帰らせ、罪のゆるしのために聖霊を注がれました。神が教会の奉仕の務めを通してあなたにゆるしと平和を与えてくださいますように。私は、父と子と聖霊のみ名によって、あなたの罪をゆるします。」

信者「アーメン。」

7. あいさつ

司祭「罪をゆるしてください。神に感謝をささげましょう。喜びと平和のうちにお帰りください。」

信者「ありがとうございます。」

8. 退席してから

• 時間があれば、その場で静かに神さまのゆるしを味わい、感謝します。

• 償いとして指定されたことのできるだけ早く実行します。

ゆるしの秘跡は、どうしても必要な場合にはすぐに受けるものでありますが、そうでなくても、降誕祭前の待降節と復活祭前の四旬節には受け、その他にも、月に1度とか、2、3ヵ月に1度とか、定期的に受け、秘跡の恵みを受けることが望ましいです。

一日を振り返るための質問 (良心の究明)

- この日に関して、どんな予定がありましたか。実行ができましたか。
- この日に対して、どんな望みや希望、心配や不安を抱いていましたか。
- 持ちたくないが、一日中しつこく戻ってくる考えや感情、または想像やイメージなどがありましたか。
- どんな人に接しましたか。
- いろいろな人と接したとき、どんな感情が浮かんでいましたか。(愛情、喜び、安心、感謝、退屈、欲求不満、フラストレーション、恐れ、怒り、憎しみ、妬みなど)
- 一日中起こった出来事や出会いの雰囲気を感じ出して、それをもう一度感じてみてください。
- この日のあなたの内面的なリズムや感情の変化について考えてみてください。
- 一日中、一番強い感情は何でしたか。
- この感情を起こした出来事や出会いを思い出してください。なぜ、この出来事や出会いは、このような感情を起こしたのでしょうか。
- この日のいろいろな出来事や出会い、また、自分の心の動きの中には、神の愛を見出すことが出来ますか。
- 神の愛に応えようと思いましたか。どうして。どのように。
- 今日、あなたは、どのようにに神の愛を現しましたか。
- 一日を振り返ってみて、何を感じましたか。どんな考えが浮かびましたか。何か気が付いたことがありますか。

司祭団より

特になし

報告事項
敬老会

9月14日開催。

53名の出席者があった。(昨年は台風のため54名の出席予定が、47名となった。)今年は、欠席者も少なく、ほぼ予定通りの出席者があった。

実費・約16万7千円 お弁当76個、お琴演奏へのお礼など含む。

皆さんからのお祝いとして、南山小学校の皆さんによるお琴の演奏、教会学校・中高生会の歌と楽しい質問、心温まるお祝いの贈り物で始まった。これらに加えて今年度は、信徒の兄妹による素晴らしい歌のプレゼントとピアノの伴奏があり、宴の最後には南山教会最高齢の方の元氣な踊り(田原坂)も見せていただいた。本当に心温かい宴であったと思う。参加人員は、昨年よりも10人以上も増え、盛況であった。来年もまたこのような楽しい会でお会いできることを祈念する。

近隣の神父様、シスターに対してのご案内は、できるだけ早めにお誘いができるよう考えていきたい。

第4回バザー委員会

9月21日開催。

今年の出店は27店、昨年は26店で青年会の東日本大震災の支援の店が1店追加になっていいます。

昨年に比べ各店の配置等を変更しているところがある。

保健所、消防、警察への届出は各担当が行う。

火を扱う店には必ず消火器を設置すること。

本部用の簡単に設置できるテナントを購入する件について、賛成多数にて、可決された。このテナントは今後教会の備品として、各種行事に使用していく。

城東ブロック会議

9月21日開催

11月23日の教区デーの将来のあり方について話し合われた。

このイベントの目的は、司教ミサに信徒が必ずかかるところに、よって、教区への帰属意識を高めることであるが、その後「司教様を囲む新年の集い」「司教

叙階、金・銀祝の祝い」等、司教ミサを中心とする、より明確な目的を持った行事が実施されるようになって「教区デー」の意義は薄れた。

近年の「教区デー」への参加者は極めて少ない。このイベントを将来的にどうするか、各小教区の意見を集約し、ブロック会議を通じて話し合いを続けていく。

2015年度7月の宣司評・信徒協の城東ブロックの定例会議は、南山教会で行われる予定だが、力障連のイベントと重なるとため、7月12日(日)午後2時から変更の依頼があった。来年度の日程表を見て、可否を検討する。

オルガン委員会 望月オルガンの打合せ

9月27日開催の第5回オルガン管理委員会において、望月オルガンと南山教会との間でオルガン修復工事の正式契約が結ばれた。(望月オルガンより望月一郎氏出席)

工事中の具体的な問題につき、質疑応答、確認を行った。工事期間は10月27日～11月15日。最初の2週間は聖堂入口近

作業時間は月～金8時～18時 土曜 8時～16時 葬儀などが入り作業が遅れた場合、平日18時以降も作業延長

作業中は聖堂玄関入口に、「作業中」の札を掛ける。工事中、聖歌隊は聖堂入って左後ろの1階席で歌う。期間中左側後ろ2列を聖歌隊席として確保する。

オルガニストは2階フロア左隅に置く電子オルガンを使用する。

オルガン修復寄付金集計 (9月30日現在)

団体205万円、
個人196万円、
本年度オルガン修復予算35万円
合計金額…436万円

倉庫の整理の状況

9月28日(日)実施。
倉庫の整理を実施。不要なものが出てきた。
処分費用はこれから出る。

納骨堂関連

ヨセフ館の入り口に、開館時刻を表示する。

キーカードは9時〜17時しか使用できない。(年中無休)
看板は、作成次第、掲示する。

審議・相談事項

教会美化とBBQについて

10月19日に行う予定
春の掃除と同様の担当で行う。

マリア館1階会議室の窓ガラスの掃除を実施。

マリア会にておにぎりなどを用意。

今回は焼き野菜が余ったので、今回は野菜スティックに変更。

教会美化は、降雨の時は中止する。BBQは雨のかららないマリア館入り口付近で実施の予定。

ゴミは各自持ち帰り頂くよう、皆さんに呼びかける。

バザー準備と当日の役割分担

10月25日…テントを平針教会から借用。午後設営の予定。

10月26日…バザー当日。午後、テントの返却。

ガーナの踊りの申し込み状況…マーティン神父様の母国の踊りをバザー当日にみんなで踊ろうという趣旨。ボーイも参加

予定。皆さんの参加をお願いしたい。

ヨセフ館開館後初の追悼ミサ
納骨されている方79組を対象に、11月2日14時から追悼ミサを開催予定。

当日は、納骨堂管理委員会のメンバーがお世話をする。

ヨセフ館、ダクト追加工事
1階玄関ロビーの換気が十分で夏場に高温・多湿の状態になるため、換気ダクトの追加工事を行う。また地下の納骨室の除湿機を増設し、除湿効果の向上を図る。費用約50万円程。

10月6日より工事開始。
コンクリートが分厚く、湿気が無くなるのに2年ほどかかる見込み。

各会報告
ボーイスカウト

10月18日(土)、19日(日)名古屋まつり沿道警備

11月1日(土)2日(日)鈴鹿で一泊野営キャンプ。参加するのは、ボーイスカウト、ベンチヤースカウト、各リーダー

典礼委員会
9月7日 子供とともにささげるミサ(9時半)

9月14日 十字架称賛の祝日

9時半のミサは日英合同
敬老のお祝いにあたり、ミサ後高齢者のために病老の塗油の秘跡。

9月15日 名古屋教区典礼研修会(※司祭対象)

9月21日 南山教会典礼委員会定例会

9月27日 教区典礼委員会定例会
会議 新内出席

10月12日 南山教会典礼委員会定例会議

10月25日 教区典礼委員会定例会議

中高生会
11月9日(日)みかん狩(東海市)

ミサ・堅信勉強会終了後、教会で昼食をとり出発する。午後5時30分教会で解散。

申込用紙は事務所にあります。

青年会
10月12日(日) 14時から青年会の集まりがあります。

教会学校
9月14日 敬老会で歌とカードをプレゼント。

レジオマリエ
定期的に病院や老人施設を訪問している。

次回は11月2日

カトリック教会のカテキズムより

1393 聖体拝領は、わたしたちを罪から離れさせます。

聖体拝領でいただくキリストのからだは「わたしたちのために渡される」からだであり、飲む血は「多くの人の罪のゆるしのために流される」血です。したがって聖体は、わたしたちをキリストに一致させるときに必ず、犯した罪から清め、これから先罪を犯さないように守ってくれます。「いただくたびに、主の死を告げ知らせるのです。もし主の死を告げ知らせるのならば、わたしたちは罪のゆるしを告げ知らせているのです。もし、御血がいつも罪のゆるしのために流されるのであれば、わたしは罪をゆるしていただくためにいつも御血をいただかなければなりません。わたしはいつも罪を犯しているのです、いつも薬をいただかなければならないのです」。

カトリック 南山教会バザー

NANZAN CATHOLIC CHURCH BAZAAR

2014年10月26日(日)

AM10:45~PM1:30

世界と平和



愛と愛でつなげよう

詳細は、南山教会のホームページをご覧ください

<http://nanzankyokai.net>

〒466-0835 名古屋市昭和区南山町1

Tel: 052-831-9131

Fax: 052-836-2253

当日は、駐車場の準備がありません。公共交通機関をご利用下さい。
地下鉄 鶴舞線いりなか駅2番出口 南へ4分